

令和5年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県南会場

科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 適切に児童を支援していくために、学校や地域との連携（とりわけ学校との連携）が大切であると学びました。放課後児童クラブは児童の遊びと生活の場ですが、学校においてもそれらは学習の基盤となるものであり、とても重要です。それらについて、学校と認識や方向性を同一にし、一貫した指導を行うことでブレのない支援につなげることができると思います。相互理解の機会を設けたり、日常的に情報交換できる状態を維持していく必要があると思いました。
- ◆ 学校や家庭での生活の約束（守るべきルールや気になる言動に対する対応）の情報を知ることが、子どもの生活の連続性につながることを学びました。放課後児童クラブの職員はその得た情報に基づいた共通の意識をもって、対応することが大事だと理解しました。学校や地域、家庭と連携を深め、子どもの成長への支援や保護者が安心して仕事と子育てをすることができる支援に繋がっていきたいと思いました。
- ◆ いつもと様子が違う場合、学校または家庭で何があったか等を情報共有できれば、放課後児童クラブでもスムーズに対応できると思いました。また、学校と放課後児童クラブの対応の仕方や説明が同じであることにより、保護者が混乱することなく理解し、信頼関係の構築につながることを学びました。守秘義務によって難しいこともありますが、子どもたちを共に育てるため、学校や保護者との連携を深め、良い方向に子どもたちを育てていけたらよいと思いました。
- ◆ 子どもの生活の連続性を保障するために、学校等と連携を図って情報交換等を行う上で、その個人情報の保護や秘密保持も重要となります。地域住民や関係機関等の理解を得ながら、協力し、複数の目で共に育て、守ることが必要になります。学校と放課後児童クラブが連携を密にし、家庭での養育支援にも繋がられるよう取り組んでいきたいです。
- ◆ 放課後子ども教室（文部科学省所管）と放課後児童クラブ（子ども家庭庁所管）は一体的に、または連携して実施することができ、県南では東成瀬村が一体型で実施していることを知りました。子どもの生活の基盤である家庭での養育を支援し、守秘義務を徹底しながら、学校の余裕教室等を利用できるように連携を図ることで、子どもを地域全体で育てる環境づくりを意識していきたいです。